



## 洗練された大正時代の様式美 ポートアート&デザイン津山

大正9年（1920）に銀行として建てられ、旧洋学資料館として親しまれた建物が、平成30年（2018）に作品の展示や販売をする芸術の発信拠点に生まれ変わりました。建物の魅力、芸術作品の展示で伝えたいことを館長の飯綱洋平さんに聞きました。

芸術や建築が伝える感動を届けたい——  
芸術作品と100年の歴史が醸し出す非日常空間

### 大正時代の魅力ある建物

100年の歴史をもつ大正期の華やかで美しい建築が特徴です。神社仏閣風の荘厳な外観から、建物の中に入ると、赤レンガを敷き詰めた中庭、展示室のレンガ造りの風合いなど、レトロな雰囲気を感じさせながら、新しくもある佇まいに魅了されます。特に気に入っている部分は、展示室内の赤レンガの壁面と開口部のアーチの組み合わせです。

敷地を囲む洋風の赤レンガ塀と、和風木造建築の組み合わせは、大正時代に活躍した竹久夢二が描く美人画の「モダン」や「粹」に通じるものがあり、大正浪漫を色濃く感じることができます。現代では珍しい、大正時代の建築美に注目してください。

### 空間を生かすために

展示作品は、絵画や陶芸、ガラス工芸品などさまざまです。展示空間に入った瞬間、訪れた人に「あっ」と驚いてほしい。そのために、作品と空間の魅力が瞬時に伝わる工夫をしています。

### 芸術や建築の感動を伝えたい

歴史的にも貴重な建物です。作品を展示することで、芸術や建築が伝える感動を皆さんに届けたい。作品を見るだけでなく、心静かに読書や書き物をするお気に入りの場所として、思い思いの時間をゆっくり過ごしてほしいです。

おいしいコーヒーや季節限定の飲み物も用意していますので、ぜひお気軽にご利用ください。



川崎823

20-1682

午前10時  
～午後6  
時（火曜日休館）

無料



取材で訪れたおかみさんの雛まつり。ずらりと並んだ段飾りは、それぞれ顔や着物が違い、ついじっくりと見入ってしまいました。そういえば、わたしのひな人形はどんな着物を着ていただろう…。もう何年も飾ることができていませんが、時には手入れをして、いつまでもきれいに残しておきたいです。☆

特集の撮影で城西へ。今まで写真を撮るのに邪魔だなぁと思っていた電柱が、昭和の写真と同じ風景を探す重要な手がかりに。こんなところに鶴丸が！三つ葉葵が！思わぬ大冒険になりました。紙面では紹介しきれなかった話や場所もたくさんあります。まちの歴史をたどる冒険の旅に出掛けませんか。♡

津山自慢に掲載の飯綱さんは、スペインの芸術都市を津山市と重ねていると話しました。その都市は、経済が衰退した時期に、現代アートで再生に成功。わたしも以前訪ねたことがあり、賑やかで明るい街の記憶があります。歴史ある建物と芸術の力を通じて活動する飯綱さんの姿が、まぶしく感じられました。♡

